

國學院大學学術情報リポジトリ

Prise Article

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://k-rain.repo.nii.ac.jp/records/296

学生懸賞論文発表

第一部門（本学文学部・神道文化学部学生、別科在籍者）

佳作

伊藤 涼（文学部中国文学科四年）

何晏の政治観―玄学萌芽を考えるために―

第二部門（本学大学院文学研究科・専攻科在籍者）

入選

高倉明樹子（文学研究科博士課程前期一年）

朝顔の花手折る薫

―『源氏物語』「宿木」巻「今朝のまの」の

独詠歌を視点として―

佳作

細田 博子（文学研究科博士課程後期一年）

鯨絵馬に込められた病平癒について

小菅あすか（文学研究科博士課程前期一年）

『源氏物語』六条御息所の最後の手紙

―「白き唐の紙四五枚」と「連作」が示すもの―

（所属・学年は、応募当時）

平成二十八年年度の学生懸賞論文の 応募状況と選考経過

國學院雑誌編集委員会

本年度の学生懸賞論文の応募論文数は、文学部・神道文化学部学生・別科在籍者を対象とする第一部門三本、大学院文学研究科・専攻科在籍者を対象とする第二部門四本であった。昨年度六本であった第一部門の応募が三本、昨年度五本であった第二部門の応募が四本とそれぞれ減少したことは、大変残念であった。

選考過程で議論になったのは、表題と内容の整合性、オリジナリティ、問題提起が明瞭であるか否か、結論と照応しているか、論文中の学術上の述語の定義は適切か否か、論証過程に破綻がないか、当該課題の研究史が十分に踏まえられているか、日本語の表現は適切か、などであった。今後、懸賞論文に応募する際には、上記の点に、ぜひ留意してほしいものである。また、本年度の応募論文数は昨年度に比して少なかったため、あらためて、学生懸賞論文の意義を周知し、意欲的な研究成果が

積極的に応募されることを期待したい。

なお、五月一七日に開催された國學院雜誌編集委員会において、査読の結果をふまえて厳正に審査した結果、次の一本を入選、三本を佳作とした。慣例では各部門において入選・佳作は一本ずつであるが、優秀な作品がそろっていたため、昨年度に引き続き、第二部門においては二本の佳作を選出している。

第一部門 (本学文学部・神道文化学部学生、別科在籍者)

佳作

伊藤 涼 (文学部中国文学科四年)

何晏の政治観―玄学萌芽を考えるために―

第二部門 (本学大学院文学研究科・専攻科在籍者)

入選

高倉明樹子 (文学研究科博士課程前期一年)

朝顔の花手折る薫

―『源氏物語』「宿木」巻「今朝のまの」の独詠歌を視点として―

佳作

細田 博子 (文学研究科博士課程後期一年)

鯨絵馬に込められた病平癒について

小菅あすか (文学研究科博士課程前期一年)

『源氏物語』六条御息所の最後の手紙

―「白き唐の紙四五枚」と〈連作〉が示すもの―

(所属・学年は、応募当時)

右の論文はいずれも、問題意識の持ち方、オリジナリティ、実証性と資料提示の手順、論証結果などについての学術的な成果が評価されたものである。入選となった高倉氏の論文に関しては、当該分野の画期的な業績として、完成度の高さが編集委員会において注目された。佳作となった論文については、学術論文としてやや不備な箇所が見られた。本誌九月号に掲載される選評を参照され、さらなる学修、研究をすすめていただきたい。